

## －2018(平成30)年度 再構築する取組－

児童・生徒の体力づくり支援事業	
H29	H30
<p>・運動やスポーツをすることが「好き」な児童生徒を増やすことをめざし、次の取組を行う。</p>	<p>・様々なスポーツに児童生徒が触れる機会を増やすとともに、学校の授業で体育の指導にあたる教諭を支援する為、次の取組を行う。</p>
<p>ゲーム感覚の運動の実施</p>	<p>ゲーム感覚の運動の実施</p>
<p>計画</p> <p>・学校の授業間休み等を活用し、簡単なゲーム感覚の運動を1校モデル実施する。</p>	<p>計画</p> <p>・民間団体との協働により、簡単なゲーム感覚で行えるオリジナルの準備体操（TAP体操）を区内の学校でモデル実施する。</p>
<p>中間振り返り</p> <p>・2学期に2小学校においてモデル校として導入開始。</p>	<p>目標</p> <p>・TAP体操を1校においてモデル実施【撤退基準】 ・実施校が0校であれば事業を再構築する。</p>
<p>各種スポーツ出前講座</p>	<p>各種スポーツ出前講座</p>
<p>計画</p> <p>・授業で民間専門家による各種出前講座を実施する。 ・区主催のイベントで民間の専門家による各種スポーツの出前講座を実施する。</p>	<p>計画</p> <p>・学校の体育の授業に民間の専門家を派遣し、各種スポーツの出前講座を実施する。 ・区主催のイベントで民間の専門家による各種スポーツ講座を実施する。</p>
<p>中間振り返り</p> <p>・順調に推移しており、2～3学期の実施にも引き続き注力する。</p>	<p>目標</p> <p>・各種スポーツ出前講座等の延べ参加人数の合計が区内小中学生の40%以上【撤退基準】 ・25%未満であれば事業を再構築する。</p>
<p>プール無料開放</p>	
<p>計画</p> <p>・中学生以下の区内プール無料開放（7・8月以外通年） ・上記の実利用人数（登録者数）を増加させる為に、小学校4年生以下に必須の保護者負担額を区が半額負担</p>	
<p>中間振り返り</p> <p>・登録者数について、撤退基準を下回った昨年度と同水準で推移しており、次年度に向けた再構築を検討する必要がある。 （登録者数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H25：区内小中学生 13.6%</li> <li>・H26.27：区内小中学生 10%</li> <li>・H28：区内小中学生 9%</li> </ul>	<p>スポーツ出前講座において、希望する小中学校に水泳のインストラクターを派遣し体力の向上をめざす。</p>

## －2018(平成30)年度 新規の取組－

淀川区学力向上支援事業（淀川漢字名人育成計画）
<p>・分権型教育行政の枠組みにより、区役所と中学校が連携して子どもの学力向上を支援する。</p>
<p>計画</p> <p>・区が、区内市立中学校に通う中学生（各学校が選定する一学年）の漢字検定の受験料を負担する。 ・各学校では、漢字検定の受験を盛り込んだ学力向上の取組をそれぞれ立案し、実施する。 ・区は、教育行政連絡会等の場を活用し、各校の取組の進捗状況をモニタリングする。</p>